

宮崎県健康づくり協会における 肺がんCT検診について ～過去3年間の結果分析～



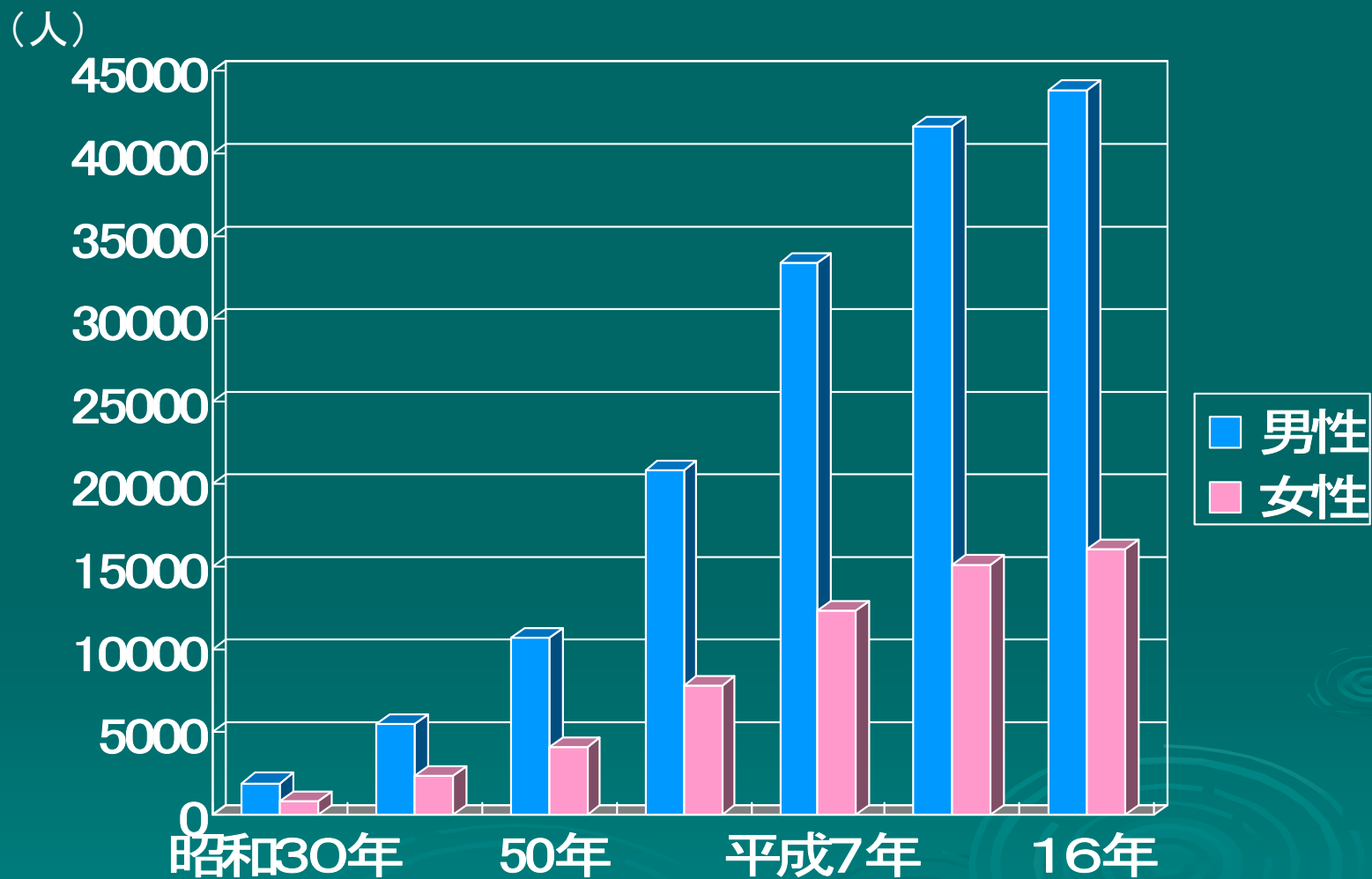
(財)宮崎県健康づくり協会

○姫松 一成 沼口 誠

伊福 浩水 鮫島 祐子

湯田 敏行 楠元 志都生

肺がん死亡者数の年次推移



資料: 厚生労働省 人口動態統計

肺がんCT検診のシステム

問診

- ・当日、看護師によりおこなう

撮影

- ・低線量で撮影(通常CTの約1/7の線量)

読影

- ・医師二人による診断

結果

- ・約3週間以内に市町村担当者へ結果送付

肺がんCT検診受診者年度別推移

		男	女
平成16年度 (437名)	4市町村	215名	161名
	職域	36名	25名
平成17年度 (2,656名)	18市町村	1,230名	1,185名
	職域	192名	49名
平成18年度 (3,010名)	12市町村	1,227名	1,305名
	職域	352名	126名

総数 6,103名 (男3,252名 女2,851名)

肺がんCT検診実績

		16年度(437名)	17年度(2,656名)	18年度(3,010名)
要精検率	E判定	44名(10.0%)	174名(6.55%)	66名(2.19%)
	D判定	52名(11.9%)	523名(19.7%)	264名(8.77%)
	F判定	57名(13.0%)	311名(11.7%)	253名(8.41%)
原発性肺がん		5名(1.14%)	10名(0.38%)	1名(0.03%)
転移性肺がん		1名	1名	1名

平成16, 17年度追跡調査報告

- ・受診者数 3,093名
- ・要精検者数 1,161名
- ・精検結果報告 955件
- ・精検受診率 82.3%
- ・肺がん確定者 15名
- ・肺がん発見率 0.48%

結果報告内訳(955件)

- ・原発性肺がん 15件
- ・転移性肺がん 2件
- ・肺がん疑い 3件
- ・その他の疾患 761件
(甲状腺がん3名 乳がん1名 胃がん1名)
- ・異常なし 64件
- ・未把握(経過観察) 110件
- ・未受診 206件

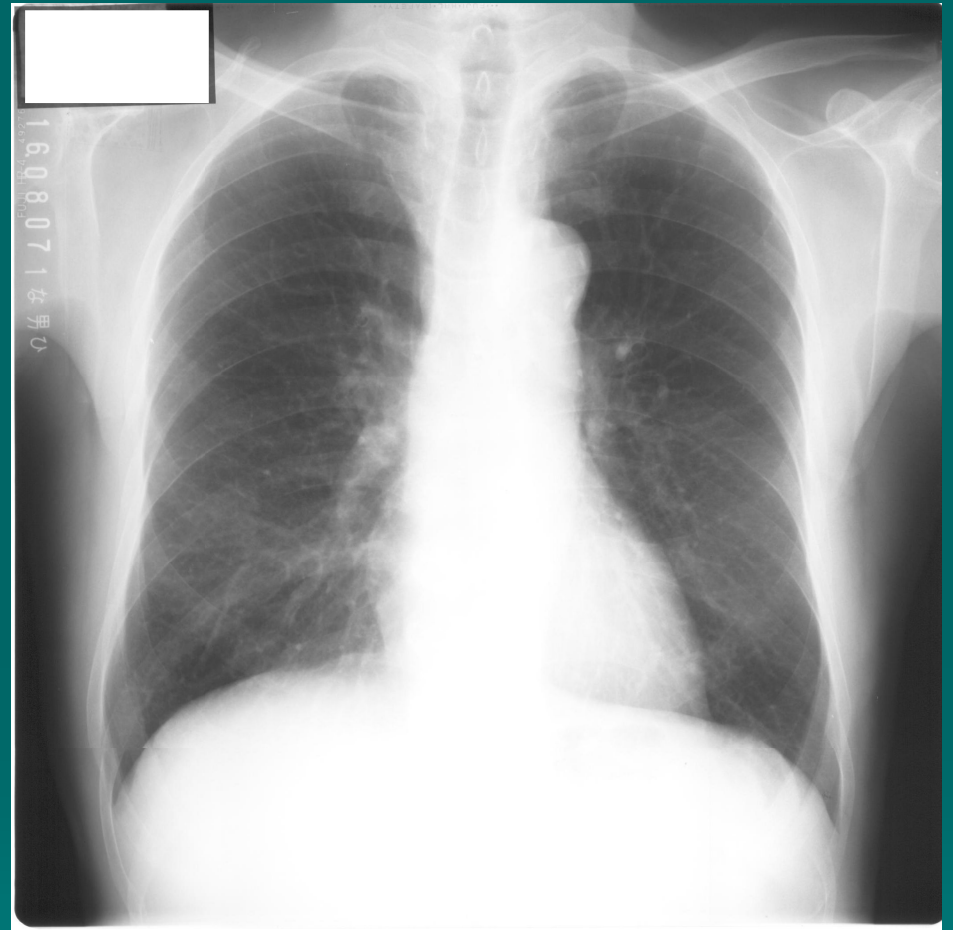
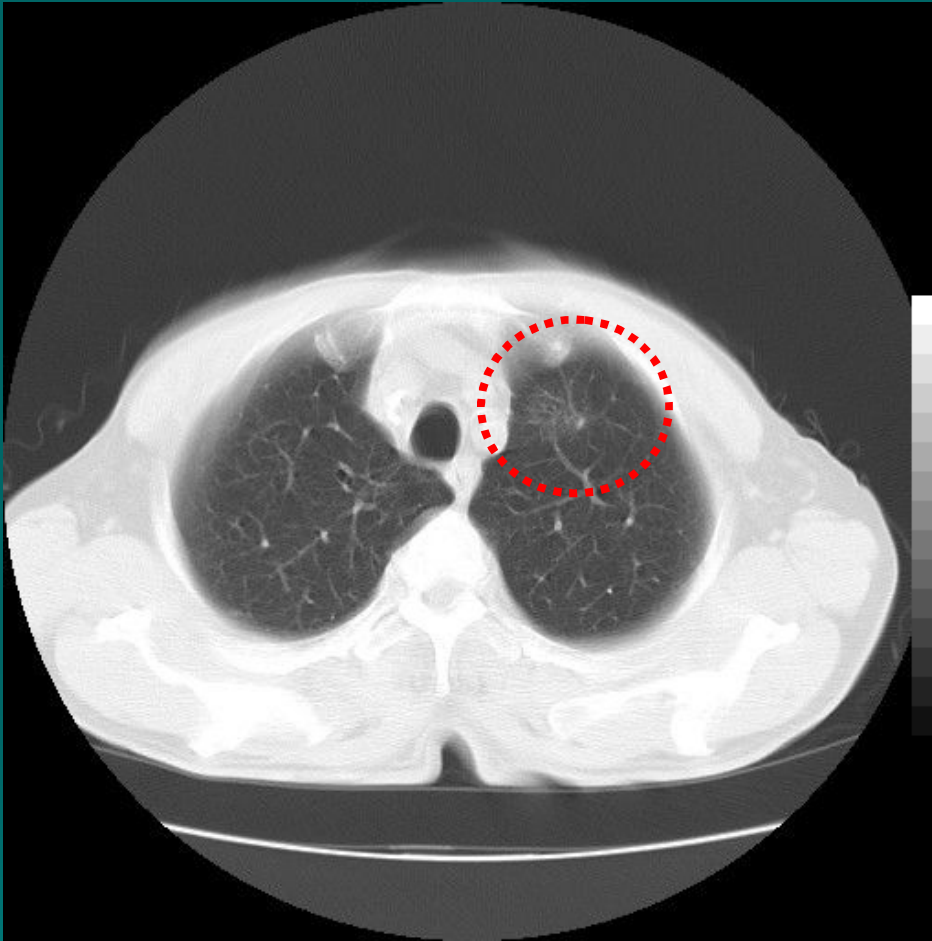
肺がん確定者の分析(年齢順)

男性

女性

症例	年齢	喫煙指数	組織型	臨床病期	症例	年齢	喫煙指数	組織型	臨床病期
1	62	820	腺がん	ⅢA期	11	50	なし	腺がん	I A期
2	67	1380	扁平上皮がん	I A期	12	52	なし	腺がん	I A期
3	69	800	腺がん	I A期	13	56	なし	腺がん	I A期
4	70	760	腺がん	I A期	14	57	なし	腺がん	I A期
5	72	1080	腺がん	I B期	15	62	840	扁平上皮がん	ⅡB期
6	73	265	不明	Ⅳ期	16	74	780	記入なし	I A期
7	73	1060	記入なし	I A期					
8	75	1040	扁平上皮がん	I A期					
9	75	300	分類不能がん	ⅡB期					
10	75	825	腺がん	I A期					

肺がん症例

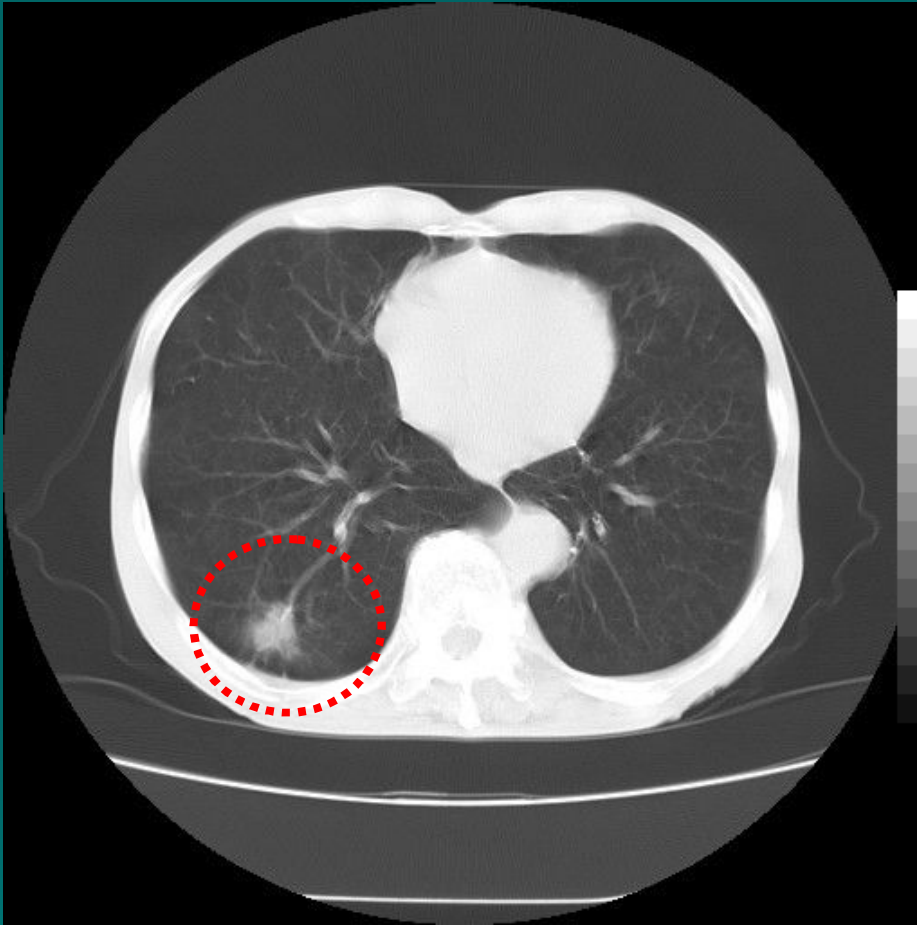


腺がん、IB期（72歳、男性）

喫煙指数 1080

一ヶ月後（術前）

肺がん症例



扁平上皮がん、I A期(76歳、男性)

喫煙指数 1040

1ヵ月後(術前)

考察（1）

○肺がん発見率と5年生存率

	肺がん発見率	5年生存率
胸部単純X線写真	0.04～0.08%	40%以下
肺がんCT検診	0.4～0.5%	80%～
肺がんCT検診（当施設）	0.48%	

○肺がん症例分析（当施設）

- ・早期がん（臨床病期Ⅰ期）が12/16例、組織型では、腺がんが多く発見された。
- ・肺がん確定者の男性は、全員喫煙しており、また喫煙者には、気腫性変化が高頻度で発見された。

考察（2）

○要精検率

平成16年度 35.0% 平成17年度 38.0%
平成18年度 19.4%

要精検率の低下の理由

- ・経年受診による比較読影が加わり、読影体制が確立
- ・気腫性変化、冠動脈石灰化の取扱い

○精検受診率（当施設）

- ・肺がんCT検診 82.3%(男性78.8% 女性87.7%)
- ・乳がん検診 95.7%(平成17年度)
- ・胃がん検診 88.8%(平成17年度)

まとめ

- ・平成16～18年度に当協会で実施された肺がんCT検診により、肺がん19例（原発性16例、転移性肺がん3例）が発見された。
- ・精検未受診者に対して、実施主体の担当者と相互協力しながら積極的に受診勧奨を行い、検診精度の向上をめざしたい。